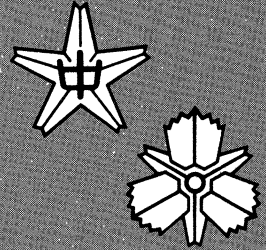




発行所

〒921
金沢市泉野出町3丁目10-10
石川県立金沢泉丘高校内
一泉同窓会
電話(0762)42-0211
1991.3.1発行



一泉同窓会総会開かれる

500余名の参加を得て和やかに

平成2年度の一泉同窓会総会並びに懇親会は、10月15日の午後6時から、金沢駅前の全日空ホテルで開催された。

総会に先立ち午後3時から、泉野出町・母校前庭の巖霜碑前で物故会員慰霊祭が行なわれ、澁谷亮治会長、船登芳雄泉丘高校校長はじめ同窓会役員、会員有志、泉丘高校教職員等多数が参列し、物故会員の冥福を祈った。

総会場では5時半から受付開始。今年は泉丘9・10・18・19・20期が幹事期となって会の準備運営に当り、小春日和を思わせる好天に恵まれて、定刻には例年にない500名を越す多数の参加を得ることができた。

まず、物故会員の冥福を祈り黙禱のあと、澁谷会長が、「3年後の平成5年に母校創立100周年をひかえ、富山・関西・関東の各支部での総会にも年を追って参加会員が増え、盛り上っている。100



周年は大きな節目であり、会員各位のいっそうのご協力をお願いします」と挨拶。続いて同年4月就任した船登校長は、「当校は進学率も高いが、県下で唯一の通信制を有する高校。また、この9月の創立記念祭では“一泉行列”を新しく企画に加え、今後はこれを名物行事にする予定」と母校の近況を語った。

さらに島厚夫100周年記念事業実行委員会事務局長からは、経過報告、記念事業・募金目標額等について、具体的な説明と協力要請が述べられ、小松暁一総務委員長より、実行委員会の組織説明と各委員会の正副委員長が紹介された。

懇親会は同ホテル自慢の3階大ホールで開かれ、山瀬芳男同窓会副会長(実行副委員長)が「100周年をめざして頑張ろう」と挨拶。出席者中、最長老の浅野直久氏(一中29期)の乾杯音頭で華やかに開宴、なごやかな交歓の一夕となった。

校歌や応援歌もとび出し、恩師の先生方や旧友との懐かしいエピソードも披露されるうち、名残りつきない午後9時、一泉同窓会のいっそうの発展と創立100周年の成功を祈念して、小川忠男記念パーティー委員長の音頭で一同万歳三唱、来年の再会を約して散会した。

